

決算状況報告

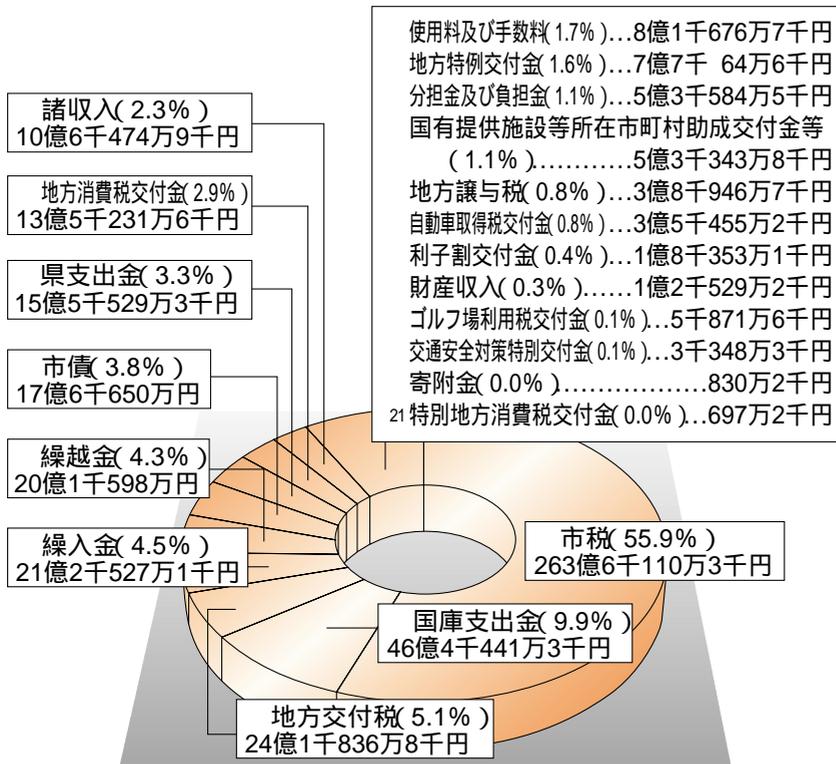


図1 歳入総額471億2千100万4千円(100%)

歳入
歳入とは、市の財源として入ってくるお金のことをいいます。その決算額は471億2千100万4千円となり、前年度に比べ11・4%の増加となりました。
図1は、その内訳を表したものです。市税は、歳入の半分以上を占め

ており、長引く不況の影響はあるものの、前年度比1・6%の増加となりました。次に多いのは国庫支出金ですが、これは国からの負担金や補助金のことです。今年度から始まった介護保険の円滑な導入のための補助金の交付があったことから、前年度比68・6%増加しました。次に新た

平成11度の一般会計決算がまとまり、第4回定例市議会で認定されました。市財源の中心となる一般会計における歳入決算額が471億2千100万4千円、歳出決算額が454億8千259万円となりました。今回は、私たちの税金がどのように使われているか、お知らせします。

| 項目 | 金額 |
|---------|-----------|
| 市民税 | 8万4千213円 |
| 固定資産税 | 6万4千85円 |
| 都市計画税 | 7千540円 |
| 市たばこ税 | 5千726円 |
| 軽自動車税 | 651円 |
| 特別土地保有税 | 38円 |
| 市税総額 | 16万2千253円 |

歳入歳出総額

| 区分 | 歳入 | 歳出 |
|----------------|------------|------------|
| 一般会計 | 47,121,004 | 45,482,590 |
| 特別会計 | | |
| 国民健康保険 | 8,531,179 | 8,231,180 |
| 下水道事業 | 5,088,095 | 4,788,323 |
| 老人保健 | 9,150,299 | 8,965,391 |
| 上広瀬土地区画整理事業 | 368,153 | 357,426 |
| 狭山市駅東口土地区画整理事業 | 356,402 | 327,836 |
| 狭山市地域振興券交付事業 | 667,758 | 667,758 |
| 合計 | 71,282,890 | 68,820,504 |

に交付団体となったことによる地方交付税、繰入金、繰越金、市債、県支出金、地方消費税交付金、諸収入などの順となっています。

生活環境の整備
ダイオキシン対策事業 2千48万1千円
新エネルギー利用施設(仮称)整備事業 2億2千67万7千円
甲斐屋坂調整池整備事業 7千360万5千円
高齢者向けケア付住宅整備事業 1億45万4千円
消防機械整備事業 3千130万8千円
防災行政無線(固定系)難聴地域対策事業 8千387万7千円

都市基盤の整備
新狭山駅構内施設整備事業 408万2千円
一般市道整備事業 4億2千322万5千円
柏原新狭山線整備事業 2億6千955万8千円
狭山市駅霞野線整備事業 1億4千196万9千円
新狭山駅南口線整備事業 1億6千934万1千円

主な重点事業の決算
各種事業の決算額は次のとおりです。

平成11年度

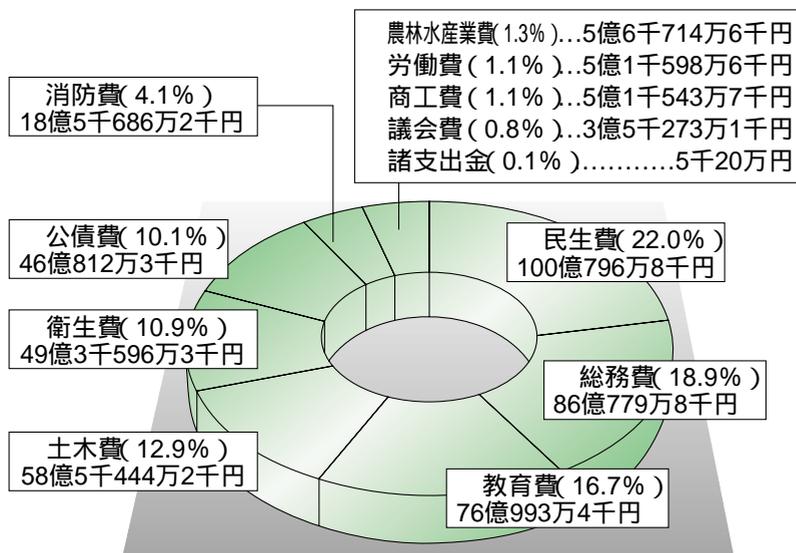


図2 歳出総額454億8千259万円(100%)

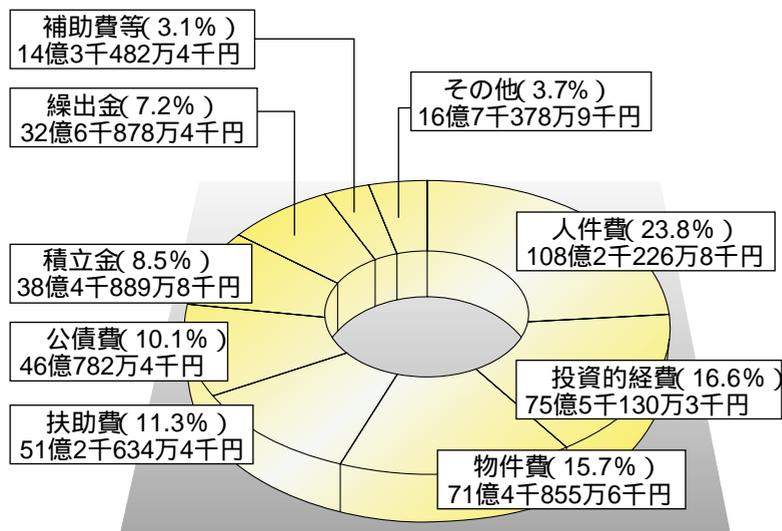


図3 歳出の性質別内訳(100%)

歳出
 歳出とは、市民の皆さんのために使われるお金のことです。その決算額は454億8千259万円となり、前年度に比べ12・9%の増加となりました。

図2は、歳出を目的別に表したものです。民生費が最も多く、高齢者などの福祉増進が主なもので、前年度比2・0%増加しました。次に総務費、教育費、土木費、衛生費などとなっております。図3は、歳出を性質別に表したものです。最も多いのは人件費で、職員の給与が主なもの

ですが、定員管理の適正化に取り組んだことなどから前年度比0・8%減少しました。続いて建設事業などの投資的経費、物品購入や業務委託などの物件費となっております。図4は、市税と目的別歳出を市民の皆さん一人当たりで換算したものです。市税は16万2千253円で前年度に比べて1・7%の増加、歳出は27万9千946円で前年度に比べて13・0%の増加となっております。なお、歳入歳出の差額は、平成12年度へ繰り越しました。

| 項目 | 金額 |
|--------|-----------|
| 歳出合計 | 27万9千946円 |
| 諸支出金 | 309円 |
| 議会費 | 2千171円 |
| 商工費 | 3千173円 |
| 労働費 | 3千176円 |
| 農林水産業費 | 3千491円 |
| 消防費 | 1万1千429円 |
| 公債費 | 2万8千363円 |
| 衛生費 | 3万381円 |
| 土木費 | 3万6千34円 |
| 教育費 | 4万6千839円 |
| 総務費 | 5万2千981円 |
| 民生費 | 6万1千599円 |

図4 2市民一人当たりに使われたお金

健康・福祉の増進

- 福祉公社の設立 2億325万円
- 介護保険準備事業 1億3千272万5千円
- 老人保健福祉計画推進事業特別養護老人ホーム整備事業) 8千580万円
- 身体障害者アイサービス事業 2千645万1千円
- 生活ホーム事業 583万2千円
- 身体障害者生活支援事業 1千125万1千円

教育・文化の振興

- 公園施設等予約管理システム整備事業 2千822万円
- 教育内容の充実 4千683万9千円
- 小学校教育用コンピュータ整備事業 5千105万円
- 校舎耐震補強事業 2千639万7千円
- 入間川小学校移転建替事業 27億3千416万8千円
- 中学校校舎空調設備改修事業 1億691万1千円

産業の振興

- 農地等基盤整備促進事業 1億7千426万8千円
- 小口融資制度の充実 1億3千万円